

平成30年度土地改良補償士資格試験問題の出題範囲と形式及び採点基準

問題の出題範囲と形式	配分点数	合格点	備考
記述試験			(試験時間)
<p>問題1 あなたが経験した土地改良事業に関する用地測量、用地調査、用地補償業務の中で、土地改良補償士に相応しいと考える業務についてその概要を述べよ。</p> <p>また、あなたの立場（発注者又は受注者）から次の項目について述べよ。</p> <p>全体で1,600字以内とする。</p> <p>(1) 土地改良補償士の行う主たる業務</p> <p>(2) あなたの経験した業務における立場と役割</p> <p>(3) 業務上の検討課題と解決策、又は補償の検討項目と内容等</p>	40点	20点以上	10:30～ 12:00 (90分)
休憩（答案用紙回収時間を含む。）			(60分)
<p>問題2 土地改良事業の施行に伴う用地等の取得等に当たり、土地等の権利者が不明な場合の処理制度とその内容について、800字以内で述べよ。</p> <p>問題3 土地改良財産の管理及び処分の主な態様のうち「補償施設の譲与」、「他目的使用」及び「道路法による管理」の3項目について、その内容を800字以内で述べよ。</p>	30点  30点	15点以上  15点以上	13:00～ 15:00 (120分)
合計	100点	60点以上	
<p>[注]</p> <p>(1) 合格点は、それぞれの問題の配分点数の5割以上で、合計が60点以上とする。</p> <p>(2) 上記による採点結果を踏まえた合否の判定は、「土地改良補償士運営委員会」において行う。</p>			